

【答え】

(1)	海のろうそく うみ
(2)	エレベーター
(3)	楽しそう たの
(4)	お母さん かあ
(5)	(とっても)ひくく、小さく見える

【せつ明】

文の中に、つぎのように書いてあります。

(1) 名前を日本語に直すと、海のろうそくです。

(2) とうにはエレベーターで上るのです。

(3) まっている人はみな、じゅん番をまちながら楽しそうです。

(4) お母さんが見ている方を二人が見ると、くつきりとふじ山が見えます。

(5) まわりの山がとってもひくく、小さく見える。

【答え】

(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
かるいから	小ゆび	きずがついて	こいみどり色 いろ	うら山

【せつ明】

文の中に、つぎのように書いてあります。

(1) 今でも家の前にはお茶ばたけが、うら山にはみかんばたけが広がっています。

(2) こいみどり色のはがしげって、

(3) そのえだでほかのみかんにきずがついてしま
うからです。

(4) 親ゆびと小ゆびではさみをつかいます。

(5) 子どもはかるいので、木の高いところまでの
ぼつても、えだがおれないのです。

【答え】

⑤	④	③	②	①
(上から)見下ろして	白いなみ	ながぎょう 長い行れつ	ケンタ	いちばん上

【せつ明】

文の中に、つぎのように書いてあります。

(1) えのしまのいちばん上につくと、大きなう
が見えてきました。

(2) 「すごく高いとうだね。上ってみたいな。」ケ
ンタは言いました。

(3) とても人で、長い行れつができています。

(4) 足の下には、海とすなはまと白いなみ。

(5) よこに細長くつづく山を、ふじ山は上から見
下ろしているようでした。

【答え】

(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
えだの先の方 ^{ほう}	三本	えだがのこらない	手とはさみ	お茶 ^{ちゃ} ばたけ

【せつ明】

文の中に、つぎのように書いてあります。

(1) 今でも家の前にはお茶ばたけが、うら山にはみかんばたけが広がっています。

(2) 一つ一つ、手とはさみをつかってとるのです。

(3) みかんにえだがのこらないように気をつけます。

(4) 人さしゆびと中ゆびとくすりゆびをつかってみかんをおさえ、

(5) 子どもはかるいので、えだの先の方までのぼるのです。



【答え】

(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
雪 ^{ゆき} をとかすため	ワクワクする	たいへん	わたがし	うらやましく

【せつ明】

文の中に、つぎのように書いてあります。

(1) いつもとてもうらやましく思っていました。

(2) それは、まるでわたがしのように見えたのでした。

(3) 雪だらけでたいへんだけど、

(4) だからワクワクしているんです。

(5) あれは水じゃなくて、雪をとかすためのおゆなんだよ。



【答え】

⑤	④	③	②	①
じよ雪車 ^{せつ}	走れ ^{はし} ない	たいへんなこと	雲 ^{くも}	めったにふらなかつた

【せつ明】

文の中に、つぎのように書いてあります。

① ユミが生まれた町では、冬は晴れた日がつづいて、めったに雪はふりませんでした。

② それは、まるで雲のように見えたのでした。

③ こっちでくらしていると、雪はたいへんなことが多いんだよ。

④ 道に雪がつもると、車も走れないし、人も歩けない。

⑤ 雪が多すぎるととけ切らないから、じよ雪車という車で、道の雪をどかさなきゃならない。